

馬喰町 ART+EAT から 展覧会のご案内

いつもお世話になっております。人と人、人とアートが楽しく出会うギャラリー+ダイナー、馬喰町アートイートから2017年9月の展覧会をご案内いたします。

村上慧 「労働をつかむ」

2017年9月5日(火)～10月7日(土) 火水木 12:00-19:00 金土 12:00-21:00 日月祝休み

- トークイベント「労働と体・広告・オリンピック」今福龍太(ゲスト)×村上慧 9月5日(火) 19:30-20:30
- 最終日は17時まで(ラストオーダーは16時)



《清掃員村上3/Cleaner Murakami 3》シングルチャンネルビデオ 2017

人件費としての僕。人件費としての妻。人件費としての父親。書いていてこわくなる。このからだのためにあったはずの労働を、このからだを通してつかみたい。この個人的なからだを食べ物を食べたがることや、排便をしたがることによって経済がまわっているはずだ。経済活動とからだを連結すればわかるはずだ。(村上慧)

村上慧は、東日本大震災を経て2014年から発砲スチロールで作った自身の家を背負って日本全国を歩きながら移住生活をおくっています。その活動は、2016年に絵本『家をせおって歩く』(たくさんのふしぎ 2016年3月号/福音館書店)にまとめられ、2017年には移住生活中の日記が書籍『家をせおって歩いた』(夕書房)となって出版されました。そんな村上が今回、向き合うのは「労働」。「このからだど労働の関係がよくわからない」と村上は言います。村上がどのようにして「労働をつかむ」のか、ぜひご高覧ください。

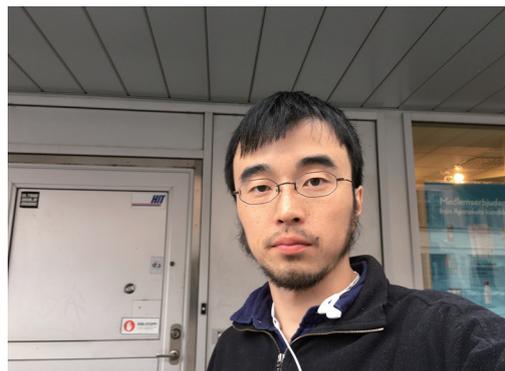
○作家プロフィール

村上慧 Satoshi Murakami

- 1988 東京都生まれ
- 2011 武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業
- 2017 文化庁新進芸術家海外派遣制度によりスウェーデンに滞在

<個展>

- 2016 Konstfrämjandet Bergslagen/Örebro,Sweden
awai art center/ 長野
- 2015 Gallery Barco/ 東京都



<主なグループ展>

- 2017 OpenART Biennale (Örebro,Sweden)
500m 美術館 vol.22 北の脈々 -North Line2- (500m 美術館 / 北海道)
- 2016 瀬戸内国際芸術祭 (小豆島 / 香川県)
岡本太郎現代芸術賞展 (川崎市岡本太郎美術館 / 神奈川県)
- 2015 作法のためのリマインダ (奈良・町家の芸術祭 はならあと 2015/ 奈良県)
吉原芸術大サービス -G.W- (吉原会館 / 東京都)
第2回もも展 (東京ミッドタウンデザインハブ / 東京都)
- 2014 第13回まつしろ現代美術フェスティバル (山寺常山邸 / 長野県)
- 2013 遠足プロジェクト (日本及びカナダ各所)
ART PROJECT OITA2013「循環」(フンドーキンマンション / 大分県)
六本木アートナイト 2013 (六本木ヒルズ / 東京都)
- 2012 テラトテラ祭り 2012 (アトレ吉祥寺 / 東京都)
Eco & Art Award 2012 (コニカミノルタプラザ / 東京都)
ART SYNCHRONICITY (Tobin Ohashi Gallery/ 東京都)
- 2011 飛鳥アートプロジェクト (飛鳥歴史公園館 / 奈良県)
Knock!Knock! 7人の訪問者来る (Gallery 工房 親 / 東京都)
武蔵野美術大学卒業修了制作展 (武蔵野美術大学 / 東京都)
- 2010 松戸アートラインプロジェクト 2010 (旧原田米店 / 千葉県)

<主なプロジェクト>

- 2014- 移住を生活する (日本)
- 2012 ×日町 (まほろばの里 川治 / 新潟県)
くつつきハウス (永沢応急仮設住宅 / 岩手県)
- 2011 引っ越しと定住を繰り返す生活 (仮)in 三宅島 (三宅島全域 / 東京都)
引っ越しと定住を繰り返す生活 (仮) (東京都内)
- 2008 ぐるぐるつくるプロジェクト (八王子大学セミナーハウス / 東京都)

<受賞>

- 2012 Eco&Art Award 2012 ミヤケマイ審査員特別賞
- 2011 武蔵野美術大学卒業修了制作展 銀賞
- 2008 第4回ダイワハウス住宅設計コンペ 入選

<出版>

- 2017 『家をせおって歩いた』(夕書房)
- 2016 『家をせおって歩く』(たくさんのふしぎ 2016年3月号 / 福音館書店)

☆村上慧の活動情報はこちらからもご覧頂けます。 <http://satoshimurakami.net>



《移住を生活する》

2014~



2014年から、発砲スチロールで作った家を背負いながら全国を歩いている。家を置く場所は、その地で出会った人と交渉して決まる。移動を引っ越しと呼び、家の絵を描きながら、その土地の記録を残していく。

2016年に『家をせおって歩く』（たぐさんのふしぎ 2016年3月号 / 福音館書店）、2017『家をせおって歩いた』（夕書房）



自分と向きあっている相手がいる、それに対してカメラを向けて写真を取った時に、自分と相手の関係が変わってしまうような現象についてのもの。

《Watch and Forget》

シングルチャンネルビデオ 2017

《特別企画》トークイベント「労働と体・広告・オリンピック」

9月5日（火）19:30-20:30（開場 18:30）

出演 今福龍太（ゲスト）×村上慧

参加費：¥1,500（1オーダーお願いいたします。）

定員：50名 ※要予約

☆オープニングアクト

村上慧による「BAR 現場」 20:30-22:00

トークイベント終了後、作家が腕によりをかけておいしいお酒を作ります。

ぜひ、会場にてご歓談下さいませ。

ゲストプロフィール

○今福龍太（Ryuta Imafuku）

文化人類学者・批評家

1955年東京生まれ。

東京外国語大学大学院教授として修辞学・群島論・歴史形象論等を教える。サンパウロ・カトリック大学コミュニケーション・記号学科大学院客員教授として随時セミナーを開催。同時に、キャンパスの外に新たな遊動的な学びの場の創造を求め、2002年より奄美群島において巡礼型の野外学舎〈奄美自由大学〉を主宰。

著書に『クレオール主義』、『ミニマ・グラシア 歴史と希求』、『群島-世界論』、『ブラジルのホモ・ルーデンス』、『身体としての書物』、『レヴィ=ストロース 夜と音楽』、『薄墨色の文法』、『書物変身譚』、『ジェロニモたちの方舟』、『わたしたちは難破者である』、『わたしたちは砂粒に還る』、『ヘンリー・ソロー 野生の学舎』（第68回読売文学賞〈随筆・紀行賞〉受賞）など多数。近刊予定に25年にわたる写真論を集成した『原-写真論』（赤々舎）。



展覧会の資料を添えましたので、ぜひお目通しの上、どのような記事でもお取り扱いいただければたいへん有難く、お願いする次第です。添付のDM写真、ギャラリー空間などは、ご提供できる画像データがございます。また、何かご質問があれば、いつでもお問い合わせくださいませ。

以上、ご検討のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

馬喰町 ART+EAT 主宰 武 真理子

〒101-0031 千代田区東神田 1-2-11 アガタ竹澤ビル 202

TEL : 03-6413-8049 Mail : info@art-eat.com

URL: <http://www.art-eat.com>